

45 ミナミアシハラガニ

(ベンケイガニ科)

兵庫県ランク:A

*Pseudohelice subquadrata*

環境省ランク:指定なし

種の概要

小笠原諸島、紀伊半島、九州北部以南に分布する。内湾や河口汽水域の満潮線付近に生息し、砂泥床や泥床を好むアシハラガニ(その他無脊椎動物Cランク)と異なり、礫地や転石地を好み、活動的でなく巣穴に潜んでいることが多い。アシハラガニに似るが、甲幅2~25mmほどの小型で、頭胸甲は丸みがあり、体色は白黒の斑点が散在する濃褐色である。甲表面は小さな凹みで覆われ、甲側縁には眼窩外歯の後ろに2つの浅い切れ込みがある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			△	○			○

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。本県においては淡路島中部の黒潮の影響する内湾干潟で確認されているのみである。遇来分布的な要素が強いこと、あまり底床上で活動しない見つけにくい生態も、確認例を少なくしている要因と考えられる。

保護上の留意点

南方系要素の強いカニであり、沿岸に黒潮が影響する内湾や河口が生息地となるが、本県では淡路中部が該当する。淡路南東部の内湾は港湾工事が著しく進み、河川は極小河川がほとんどであり、生息可能な場所は由良湾内の数箇所程度しか現存しないと考えられるので、現生息地ならびに生息可能な干潟の保全に努める。



※撮影個体は県外産

写真提供：関慎太郎



※撮影個体は県外産

写真提供：関慎太郎



【執筆者】 増田修